

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	38	「虐待の芽チェックリスト」の結果を基に、今後は職員全員で対応方法の検討を行う予定である。敬う気持ちを忘れず、ご利用者の思いを受け入れる事の大切さを職員間で共有し、ご本人の意思決定を支援していきたいと考えている	①虐待の芽チェックリストの改善できていない項目の改善	①改善出来ていない項目を一つずつ、GH会議の時付箋法(KJ法)を用いて、分かり易く図面化し、職員全体で検討し改善していきます	12 ヶ月
2	10	年に1回の、日々の暮らしを伝えるお便りを家族に渡して。健康状態の報告も密に行っているが、今後は更に日頃の暮らしぶり(日々の生活や外出状況等)を丁寧に報告すると共に、家族の要望を伺っていききたいと考えている	①年に4回程度の広報誌作成・配布 ②月に1回程度、面会時に最近の暮らしぶりを報告	①季節ごとに、広報誌作成で、GHでの活動状況がわかるようにします ②面会に定期的に来られる方には、担当者が主になり、日常生活状況を伝え、家族の要望を伺っていきます。遠方の方には、手紙で報告し電話で要望や意見等伺います。	12 ヶ月
3	28	今後も行動障害の原因を分析し、対応策も含めてアセスメントに残していく予定である。ご利用者の「望む暮らし」(生きがいや役割、楽しみ、夢など)を丁寧に把握し、介護計画の1表「生活への意向」を膨らませていく予定である。	①行動障害の問題行動だけではなく、原因の把握 ②一人ひとりの生きがいや役割、楽しみ、夢の把握	①行動障害が起きた時は、ケアマネ、担当者が主になり検討会を行い、職員全体で原因を考察、対応策までアセスメントしていきます ②センター方式のC-1-2を使用し把握して、「生活への意向」を充実していきます	12 ヶ月
4	37	今後更に自主訓練の機会を作り、災害時には指揮ができる方々の訓練も行い、応援に来てくださる方との連携を強化する予定である。ハザードマップを基に、自然災害の対応も検討して行きたいと考えている	①週1回ミニ自主避難訓練 ②ハザードマップ(土砂災害・洪水)より、危険区域把握、自然災害の対応	①夜間想定ミニ自主避難訓練マニュアルの作成 ①週1回、2人一組になり災害時の行動の、シュミレーションを行い、意識付けをしていきます ②大牟田市都市整備部防災課より、ハザードマップ等必要な物を集め、対応策を考えます	12 ヶ月
5					ヶ月